

# 2019年度前期「異業種・独自企業研究会」

- AI&IoTなどデジタル化時代の日本のイノベーションを考えるスタートポイント、今日の日本の“ものづくり”の核心-

と き・訪問見学先

講師とご講演テーマ

1

## サントリーウエルネス(株)

健康科学研究所(京都府相楽郡・ワム川サニータウン内)

2019

4月18日(木)



健康科学研究所・本社サブメント

サントリーのフロンティア製品の開発と事業化に学ぶ

## 『サントリーのサプリ・花卉事業の 開発と事業化の経緯』

サントリー食品インターナショナル(株)取締役 副社長 辻村 英雄氏

同社のサプリは今年1千億円突破の見通し。第一号「セサミン」が出たのは1993年。開発に着手して13年になる。青バラで知られる花事業が始まったのは'89年。この中心にいたのが辻村氏。創業者鳥井信治郎氏以来、同社の新製品・新事業開発で数字による採算計画を求められることはなかった。ワイン、ウイスキー、46年目で黒字化したビールの歴史は現代にも生きている。今日の開発と事業化が学ぶべき核心がある。



辻村英雄氏

2

## (株)巴川製紙所

静岡事業所(静岡県静岡市)

5月30日(木)



特殊抄紙技術でシート化した独自の金属繊維



井上善雄氏

製紙技術をコアに世界初の電子材料を生み出し続ける、異色の独創企業の秘密を探る

## 『巴川製紙所と技術開発の取り組み』

(株)巴川製紙所 代表取締役社長 井上 善雄氏  
取締役 常務執行役員 CTO 井上 雄介氏

同社は、加速するIoT化の中、電子部品や機器の小型・軽量化・ハイパワー化に伴う高電圧・大電流・高周波化等による障害対応で今後電気・電子機器に生じる設計・構造変革を視野に、独自の電気工学的知見と製紙技術を基に、金属の導電性・放熱性と紙のフレキシビリティ・軽量性等を新コンセプトに金属繊維シート等を開発。世界シェア8割以上の先端製品を幾つも持つ、現代最先端を行く創業100年の異色企業。



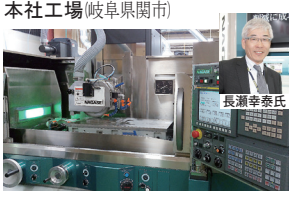
井上雄介氏

3

## (株)ナガセインテグレックス

本社工場(岐阜県関市)

6月7日(金)



世界で最高評価を得る同社超精密成形研削盤



長瀬幸泰氏

1nmを超える加工分解能を持つ世界最高峰の工作機械メーカーに学ぶ、現代への示唆

## 『極限の加工精度に挑む ナガセインテグレックスの挑戦』

(株)ナガセインテグレックス 代表取締役社長 長瀬 幸泰氏  
元専務取締役工場長 山口 政男氏

0.001μm(1nm)の加工分解能を持つ工作機械を開発・生産する世界最高加工精度を誇る工作機械メーカー。ハワイ観測所すばる望遠鏡主鏡を生み出した。このレンズは磨く程に精度が落ちると言われる、極限の超精密研削加工で仕上げられている。世界が尊敬する日本のものづくりの象徴とも言える存在。ここからわれわれは何を学ぶか。



山口政男氏

4

## 大昭和精機(株)

淡路工場(兵庫県洲本市)

7月10日(水)



ツーリングの世界を切り開いた世界最高評価の製品群

世界最高振れ精度(0.1μm以下、4D先端3μm以下)、世界最高レベルの機械加工を支える

## 『大昭和精機の経営・ものづくり理念、 今日に至る道程と今後のビジョン』

大昭和精機(株) 代表取締役会長 北口 良一氏

「ツーリング」と呼ばれる「工作機械保持工具」メーカーとして世界に知られる。一代で「BIGブランド」を築き上げた北口会長の「ものづくり」への卓越した「識見」と「こだわり」、「経営手腕」への世界評価は高い。それ程重視されていなかった「工具刃先とツーリングの一体化」を重視。刃先の心高や振れなど、「ものづくりの急所」を現場の目で見抜き、革新していく現場力は、このAIとIoTの時代、余りに学ぶべき示唆が多い。



北口 良一氏

5

## 味の素(株)

バイオ・ファイン研究所(神奈川県川崎市)

8月20日(火)



CIC(クライアント・イノベーション・センター)オープン&リンクイノベーションの推進拠点

## 『先端バイオ・ファイン技術の進化による ASV(Ajinomoto Group Shared Value)の創造』

味の素(株) 常務執行役員 アミノサイエンス事業副本部長、  
バイオ・ファイン研究所長 児島宏之氏

味の素は、創業以来100年余に亘るアミノ酸研究に基づく「先端バイオ・ファイン技術」に立脚した食とアミノ酸のリーディングカンパニー。アミノ酸から始まった数多くの事業、サービスの開発とそれを支える製法技術開発の発展が繰り返されて来た。食品事業、ライフサポート事業、ヘルスケア事業と広がった事業像と将来展望をご紹介します。



児島 宏之氏

6

## NTT(日本電信電話(株))

武蔵野研究開発センター(東京都武蔵野市)

9月5日(木)



武蔵野研究開発センター

## 『DX(デジタルトランスフォーメーション)時代における 情報システム生産技術への挑戦』

(株)エヌ・ティ・ティ・データ 取締役 常務執行役員  
技術革新統括本部長 技術戦略担当 木谷 強氏

AI、IoT、量子コンピューティングなど、今日の急激な技術革新はITサービス産業にも大きな変革をもたらしている。本講演では、デジタルトランスフォーメーション時代におけるNTTデータの情報システム生産技術について、マーケット動向を踏まえた技術戦略をご紹介します。NTT武蔵野研究開発センターの見学と合わせ、世界をリードする基礎研究、NTTグループの技術を支える研究開発状況に触れさせていただきます。



木谷 強氏

チ  
ェ  
ア  
マ  
ン



鈴木一義氏  
(独)国立科学博物館  
産業技術史資料情報センター長  
ものづくり日本大賞選考委員  
経済産業省「ロボット大賞」選考委員  
世界文化遺産特別委員会委員  
※江戸時代以前を含め、日本の科学技術発展史研究の第一人者。



森和弘氏  
元旧松下電器産業(株)代表取締役常務  
元旧松下電子工業(株)代表取締役社長  
元旧松下電器産業(株)取締役技術本部長  
※大河内記念生産賞 2回受賞  
※新電子部品の実用化/開発者、松下の人事部長の補佐者、望遠鏡  
の設計者、デジタルカメラの開発者/開発者、松下の人事部長の補佐者、望遠鏡  
開発部長職歴、日本で初めてDRAM製造、松下電子の開発者/開発者。

基本スケジュール

13:10~14:40 講演  
14:40~15:10 Q&A  
15:20~16:50 現場見学  
17:00~18:00 ライトパーティー

※ご同業の場合、ご遠慮いただく場合があります

新経営研究会

<http://www.shinkeiken.com>